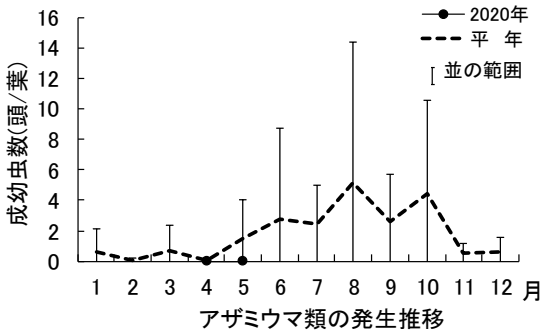
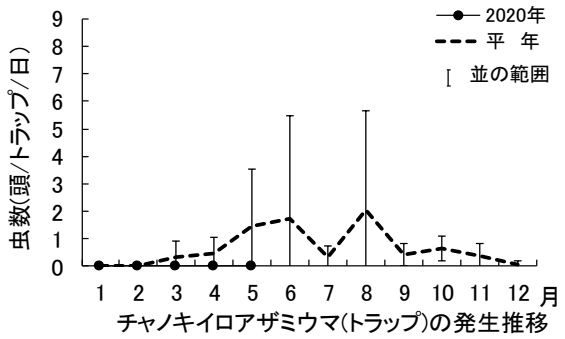
令和　2 年度　　6 月予報

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	

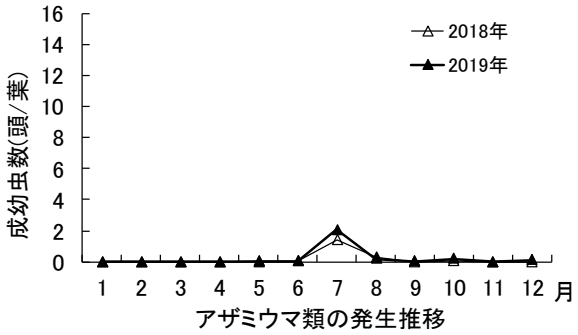
調査結果

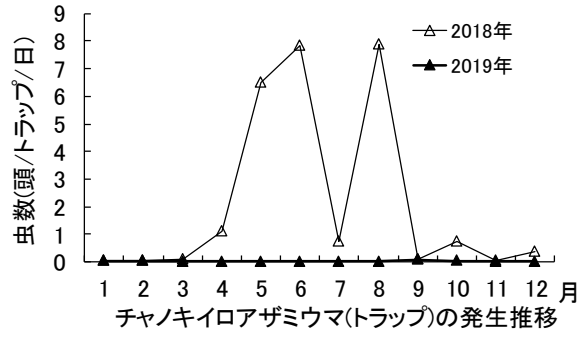
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・関係機関より一部ほ場で多発情報あり
・見取り調査による発生施設率：20.0%（平年値：41.5%）

防除のポイント

・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・多発した施設では、収穫後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

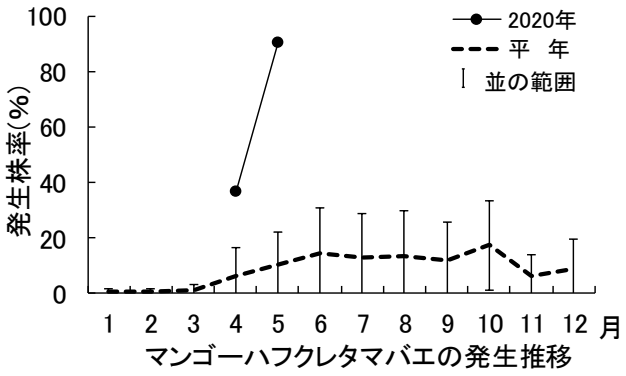
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　6 月予報

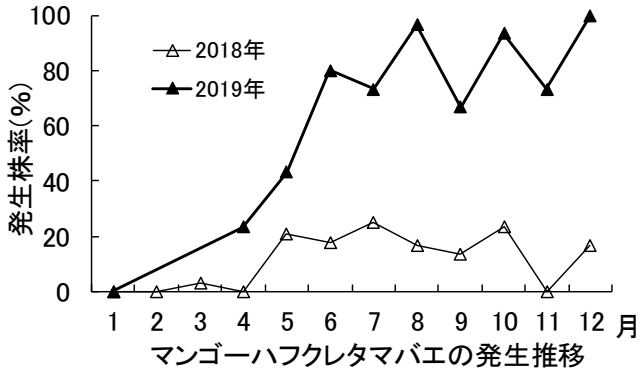
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
予報	6 月の発生量（平年比）	多	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗） 新梢の発生量が増加するため	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・被害新梢率：55.8%

・発生施設率：100%（平年値：33.3%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

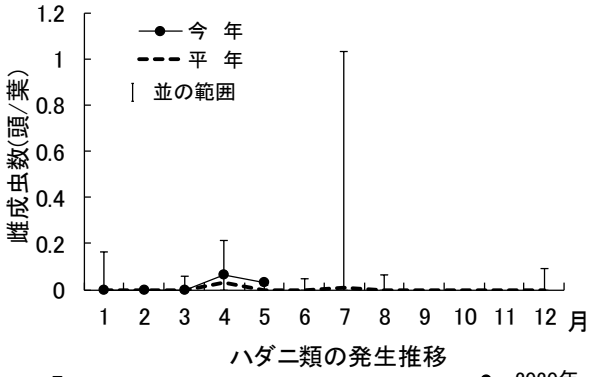
令和　2 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類			
予報	6 月の発生量（平年比）	やや多		
	5 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	やや多		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

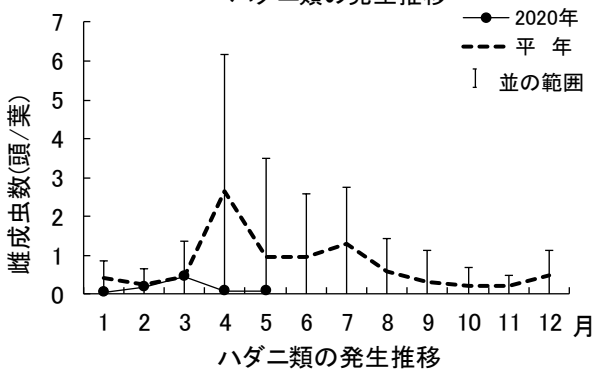
調査結果

今期と平年の推移

中央値



平均値



・発生種：シュレイツメハダニ

・発生ほ場率：60.0%（平年値：36.7%）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。